

株式会社 **山善**

2026年3月期
(第1四半期)

決算補足資料



証券コード： 8051

A G E N D A

I . 2026年3月期（第1四半期） 決算概要

II . 2026年3月期 業績見通し・中期経営計画

III . 株主還元

Appendix

（単位：百万円）

	2025年3月期 第2四半期（中間期） 実績	2026年3月期 第2四半期（中間期） 計画 （2025年5月14日発表）	2026年3月期 第2四半期（中間期） 修正計画 （2025年8月8日発表）	2026年3月期 通期 計画 （2025年5月14日発表より 変更なし）
売上高	248,924	250,000	255,000	530,000
営業利益	3,442	3,000	4,000	9,000
経常利益	3,494	3,000	4,000	9,000
親会社株主に帰属する 中間純利益/当期純利益	2,567	2,500	3,200	7,000

修正の理由

2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績については、日本国内における梅雨明け前から始まった猛暑の影響を受け、生産財関連事業及び消費財関連事業の双方において、猛暑対策関連商品の受注が好調なこと等により、当初計画していた売上高を上回る見込み。その結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益が前回発表予想を上回ることが見込まれるため、2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想を修正。

なお、2026年3月期の通期連結業績予想については、第3四半期以降の市場動向や外部環境の変化等を慎重に見極める必要があることから、現時点では公表値を据え置き。

AGENDA

I. 2026年3月期（第1四半期） 決算概要

II. 2026年3月期 業績見通し・中期経営計画

III. 株主還元

Appendix

（単位：百万円）

	2025年3月期 （第1四半期）	2026年3月期 （第1四半期）	対前年同期 増減率	通期計画	進捗率
売上高	118,577	126,136	+ 6.4%	530,000	23.8%
売上総利益	17,756	19,114	+ 7.7%	-	-
（総利益率）	15.0%	15.2%	+0.2pt	-	-
販売管理費	16,885	17,381	+ 2.9%	-	-
営業利益	870	1,732	+ 99.0%	9,000	19.3%
（営業利益率）	0.7%	1.4%	+0.6pt	1.7%	-
営業外損益	261	57	△ 78.0%	-	-
経常利益	1,132	1,790	+ 58.1%	9,000	19.9%
特別損益	180	1,015	+462.8%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	642	1,823	+ 183.9%	7,000	26.1%

売上高 126,136百万円 対前年同期増減率 +6.4%

猛暑の影響により暑熱対策機器や環境改善機器、空調関連機器の売上が好調に推移したため増収

営業利益 1,732百万円 対前年同期増減率 +99.0%

貸倒引当金繰入や販売手数料、運賃等の増加により販管費が前期比2.9%増加したものの、売上総利益の増加分が上回り、増益

売上総利益 19,114百万円 対前年同期増減率 +7.7%

売上高増加により増益

親会社株主に帰属する

四半期純利益 1,823百万円 対前年同期増減率 +183.9%

営業利益の増加と、政策保有株式の売却益を計上したため増益

（単位：百万円）

	2025年3月期 （第1四半期）	2026年3月期 （第1四半期）	対前年同期 増減率
機械事業部	13,671	15,362	+ 12.4%
産業ソリューション事業部	21,809	23,185	+ 6.3%
ツール&エンジニアリング事業部	19,744	19,987	+ 1.2%
海外事業部	19,196	18,887	△ 1.6%
生産財関連計	74,421	77,421	+ 4.0%
住建事業部	17,946	20,987	+ 17.0%
家庭機器事業部	24,999	26,664	+ 6.7%
消費財関連計	42,945	47,652	+ 11.0%
その他	1,210	1,062	△ 12.2%
合計	118,577	126,136	+ 6.4%

事業部別売上高構成比（前期比較）

国内生産財 46.6% → 46.4% (△0.2pt)

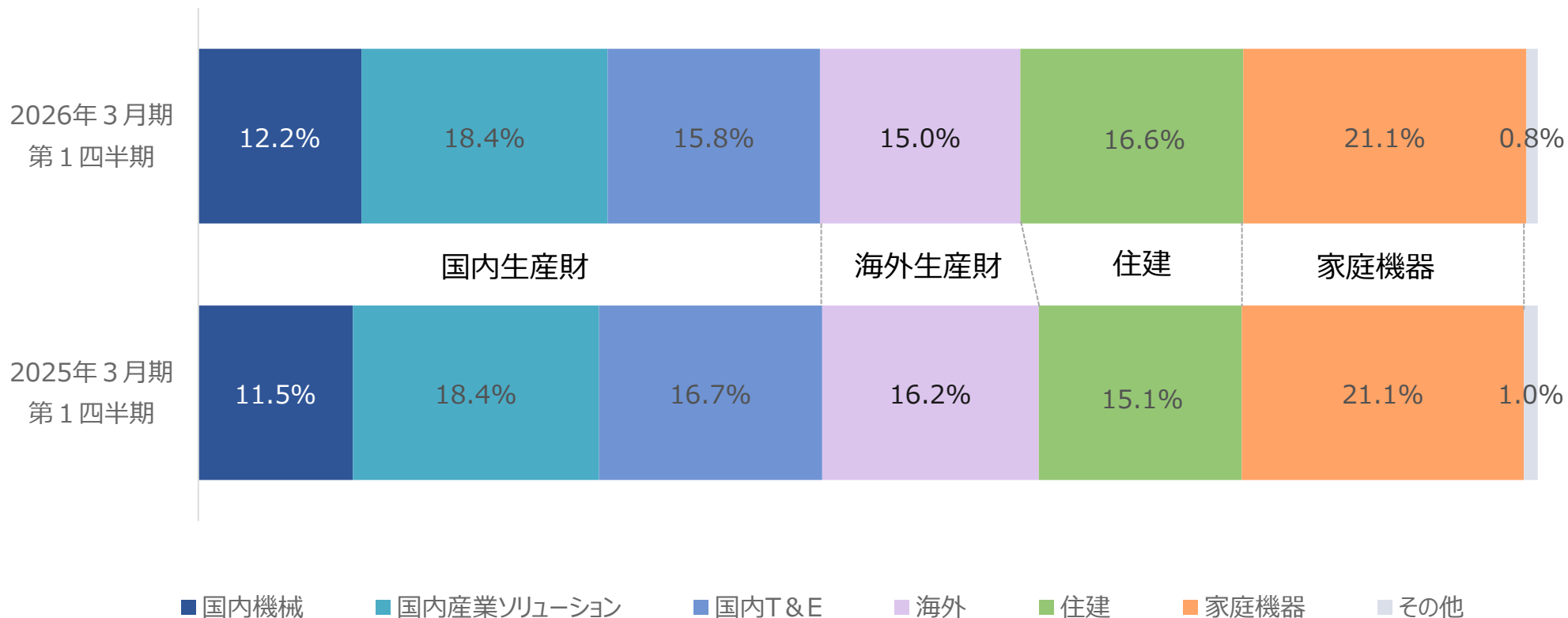
海外生産財 16.2% → 15.0% (△1.2pt)

生産財計 62.8% → 61.4% (△1.4pt)

住建事業 15.1% → 16.6% (+1.5pt)

家庭機器事業 21.1% → 21.1% (+0.1pt)

消費財計 36.2% → 37.8% (+1.6pt)



生産財関連セグメント 概要（国内/海外）

（単位：百万円）

	売上高	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率
国内 生産財	機械事業	13,671	15,362	+ 12.4%
	産業ソリューション事業	21,809	23,185	+ 6.3%
	ツール&エンジニアリング事業	19,744	19,987	+ 1.2%
	合計	55,225	58,534	+ 6.0%
海外生産財	海外事業	19,196	18,887	△ 1.6%
合計	売上高	74,421	77,421	+ 4.0%
	セグメント利益	809	1,201	+ 48.4%
	セグメント利益率	1.1%	1.6%	+0.5pt

国内生産財事業

- 工作機械においては前年実績が低調であったため、自動車産業の新たな設備投資への活発な動きは依然として見られないながらも反動増
- 切削工具等の消耗品も自動車生産減少の影響を受けたが、生産現場で使用される様々な作業用品や測定・分析機器等の販売が好調
- エネルギー価格高騰が継続する中、省エネ機器の販売が堅調に推移し、さらに職場における熱中症対策が義務化されたことにより暑熱対策機器や労働環境改善に対応する環境改善機器等の売上も好調に推移

海外生産財事業

- 北米支社では、製造業の設備投資が全般的に振るわず、前年を下回る実績
- 台湾支社では、半導体関連を中心とした設備投資が回復基調となり、前年を上回る結果
- 中国支社では、内需型企業の設備投資は回復基調だが、輸出型企業の設備投資の落ち込みをカバーできず、前年を下回る結果
- アセアン支社では、他地域からの生産移管などの新たな設備需要を取り込んだが、製造業全体の設備投資意欲は低く、前年と同水準

住建事業

（単位：百万円）

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率
売上高	17,946	20,987	+ 17.0%
セグメント利益	382	547	+ 43.1%
セグメント利益率	2.1%	2.6%	+ 0.5pt

- 省エネ改修需要や猛暑の影響により空調設備の売上が好調に推移
- 光熱費高騰による消費者の節約志向に対応した高付加価値商材の提案に注力した結果、給湯器等の販売も堅調に推移
- 中小企業のカーボンニュートラル対応及び光熱費削減へのニーズに向け、環境商材と施工をセットにした設備改修提案強化が奏功

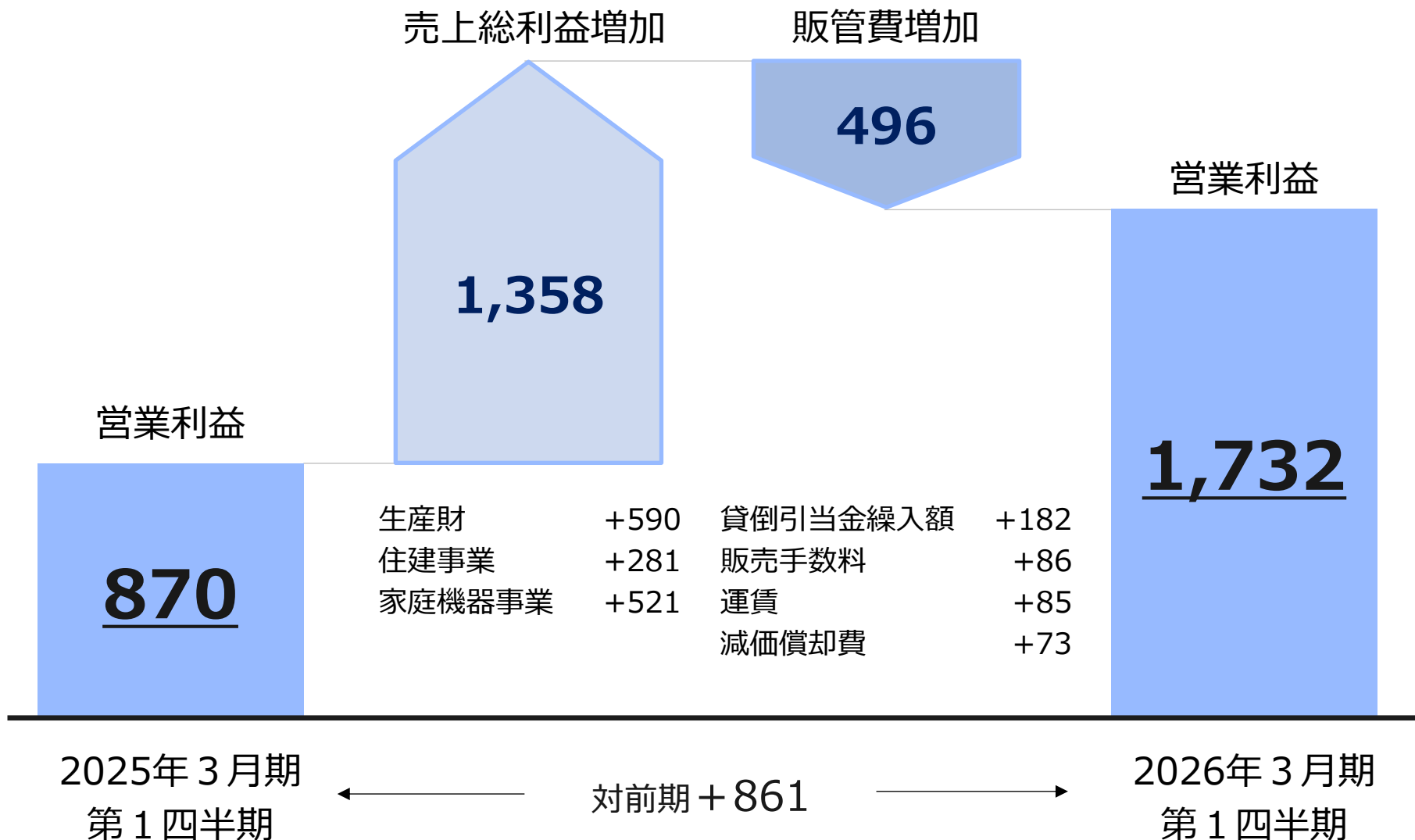
家庭機器事業

（単位：百万円）

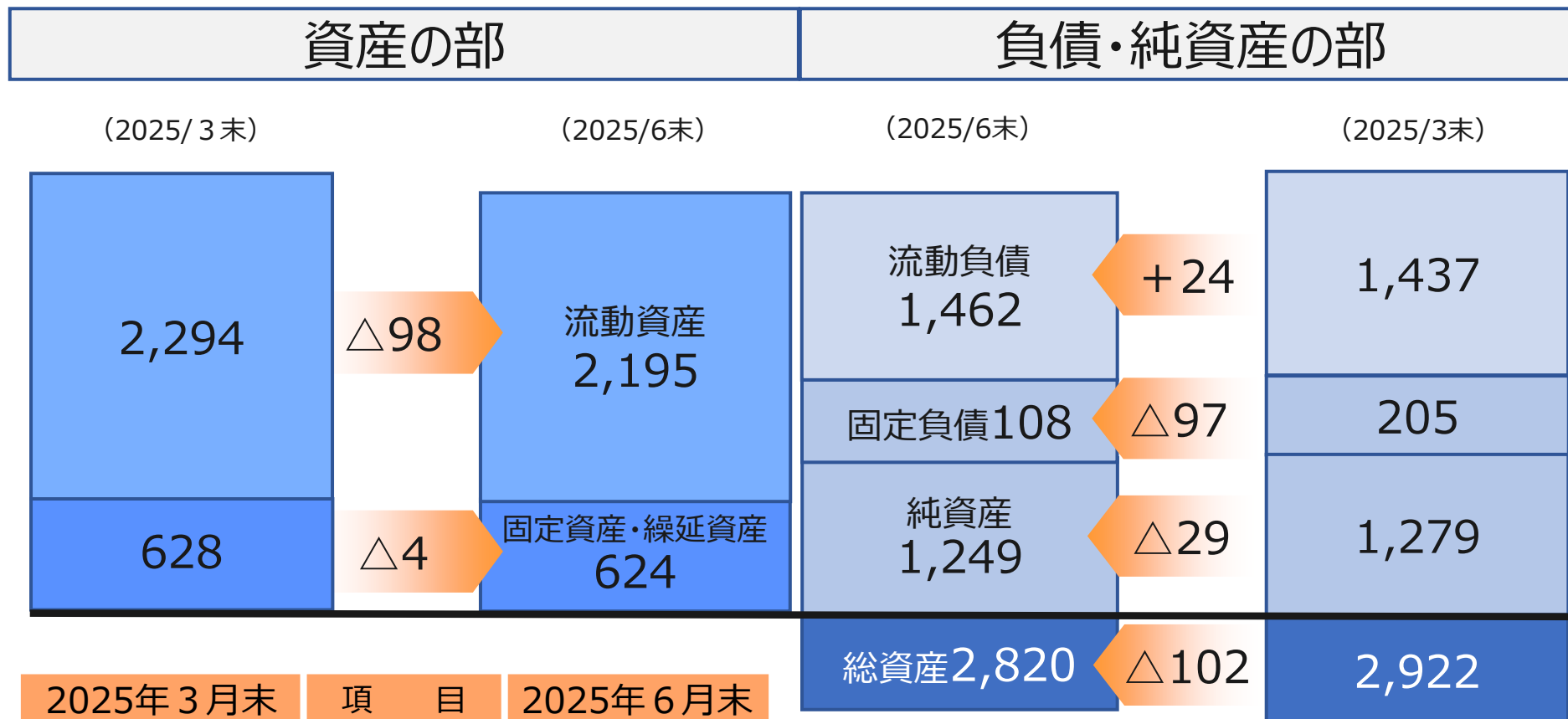
	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率
売上高	24,999	26,664	+ 6.7%
セグメント利益	1,199	1,397	+ 16.5%
セグメント利益率	4.8%	5.2%	+ 0.4pt

- 物価上昇による消費者の購買意欲の落ち込みがあったが、消費者ニーズを捉えたプライベートブランド商品のスピーディーな企画・開発とラインアップ強化に取り組み、SNSや各種メディアを活用した情報発信によってYAMAZENブランドの浸透を図った結果、AV家電等が伸長
- 猛暑の影響により、ファン付ウェアや移動式エアコンの販売は堅調に推移
- 販売チャネルの拡大を狙った法人・個人事業主向け自社ECサイト「山善Bizコム」においても、売上高・会員数が順調に伸長

(単位：百万円)



(単位：億円)



2025年3月末	項 目	2025年6月末
6.1%	R O E	1.5%
43.3%	自己資本比率	43.8%
1,481.00円	1株純資産	1,455.77円
1,125億円	時 価 総 額	1,063億円
83億円	基 礎 的 営 業 キャッシュ・フロー	△6億円

※ 時価総額は、決算日の終値に同日発行済株式数（自己株式を除く）を乗じて算定

※ 基礎的営業キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローから運転資本増減額を控除して算定

※ 億円未満を切り捨て

A G E N D A

I. 2026年3月期（第1四半期） 決算概要

II. 2026年3月期 業績見通し・中期経営計画

III. 株主還元

Appendix

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画	対前期 増減率
売上高	516,126	530,000	+2.7%
営業利益	9,535	9,000	△5.6%
営業利益率	1.8%	1.7%	△0.1pt
経常利益	10,018	9,000	△10.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,845	7,000	△10.8%

売上高 前期比 +2.7%

経済環境は不透明であるものの、前中期経営計画において実装、拡充してきた経営基盤を有効に活用し、営業力の強化によりシェアを拡大させる

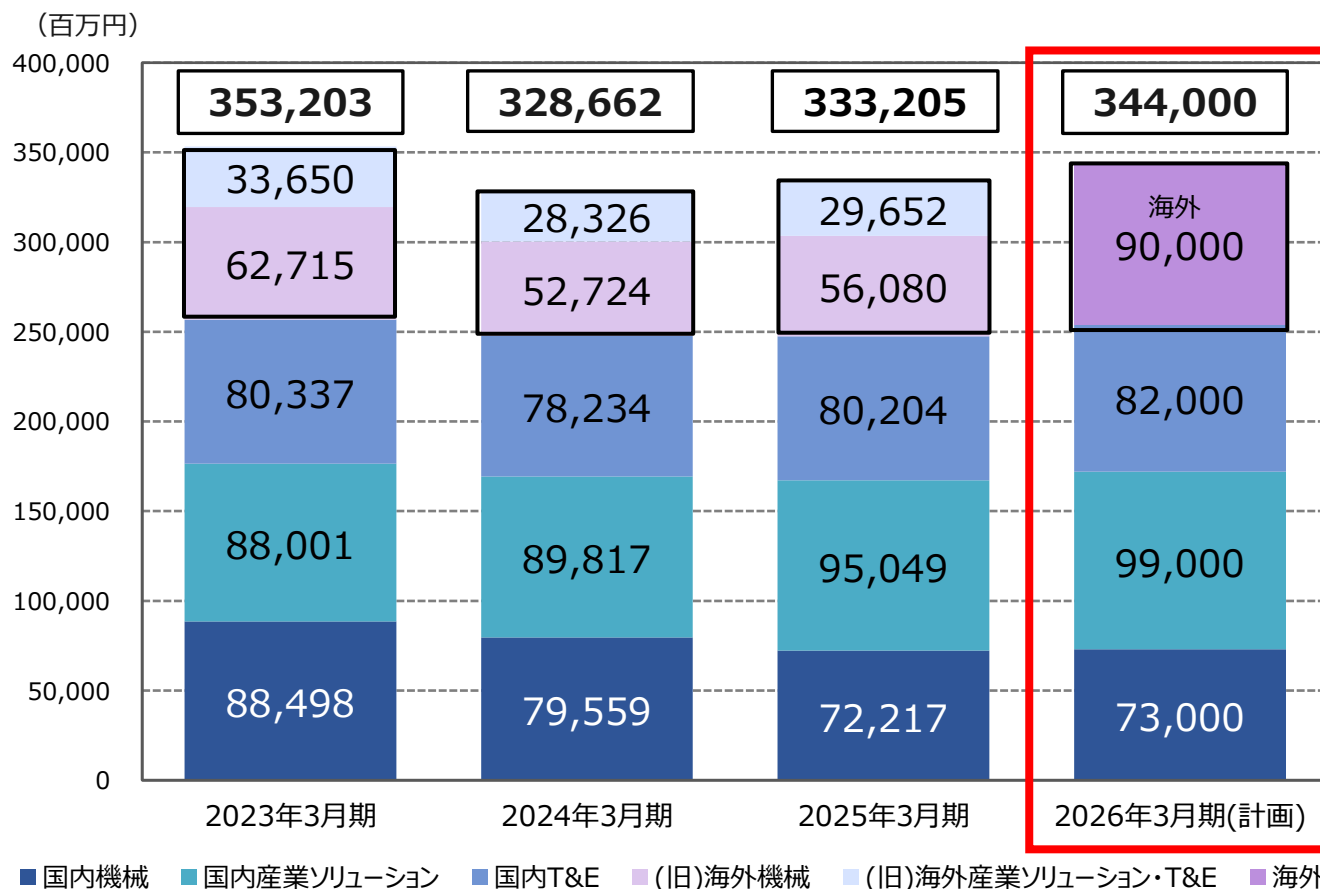
営業利益 前期比 △5.6%

基幹システム及び物流システム費の償却、人件費や物流関連費の増加等により減益

(単位：百万円)

		売上高計画	対前期 増減率	セグメント利益 計画	対前期 増減率	セグメント 利益率
生産財事業合計	通期	344,000	+3.2%	8,300	+0.1%	2.4%

生産財事業 3カ年売上推移と今期計画

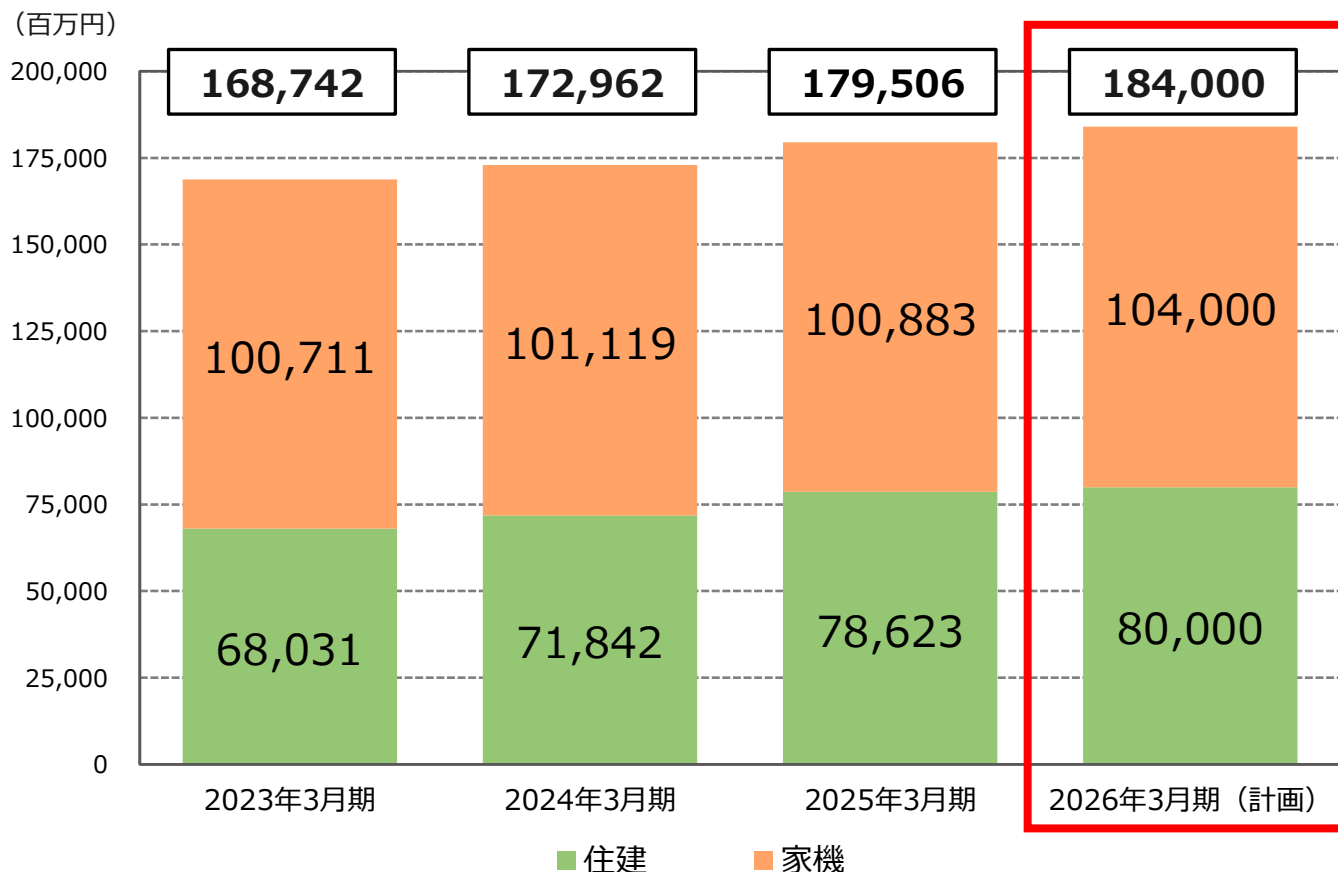


- ✓ 各事業部にてより専門性を強化し、自動化・省人化、脱炭素化等、ソリューション提案を加速
- ✓ オリジナル商品の開発強化と拡販
- ✓ 半導体・三品(食品・薬品・化粧品)・物流・建機等の新たな領域へのアプローチ
- ✓ 海外ではターゲット市場の地理的拡大・市場とビジネス業態の多様化対応・サプライヤーとの関係を強化

(単位：百万円)

		売上高計画	対前期 増減率	セグメント利益 計画	対前期 増減率	セグメント 利益率
住 建 事 業 部	通期	80,000	+1.8%	3,300	+3.4%	4.1%
家 庭 機 器 事 業 部	通期	104,000	+3.1%	4,600	+3.4%	4.4%

消費財事業 3カ年売上推移と今期計画



■ 住建事業部

- ✓ エンジニアリング力とコンサルティング力の強化
- ✓ 住宅リフォーム分野強化のためにホームセンター・家電量販店のリテール分野とECリフォーム分野へ注力
- ✓ ハウスビルダーへの営業強化とZePlus※事業の拡大
- ✓ 住宅・非住宅への省エネ提案・補助金提案に注力

■ 家庭機器事業部

- ✓ 自社・出店それぞれのタッチポイントを増やしたGMV（流通取引総額）の向上
- ✓ 全国エリアへの即納体制とシステム完備
- ✓ 全てのチャネルにおける取引のデジタル化により、最適な商品を市場へ提供

2026年3月期（第1四半期）前年同期比・計画進捗一覧

（単位：百万円）

事業			2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	対前年同期 増減率	2026年3月期 通期計画	通期計画 進捗率
生産財計	機械	売上高	13,671	15,362	+12.4%	73,000	21.0%
	産業ソリューション	売上高	21,809	23,185	+6.3%	99,000	23.4%
	ツール&エンジニアリング	売上高	19,744	19,987	+1.2%	82,000	24.4%
	国内生産財計	売上高	55,225	58,534	+6.0%	254,000	23.0%
	海外	売上高	19,196	18,887	△1.6%	90,000	21.0%
	生産財計	売上高	74,421	77,421	+4.0%	344,000	22.5%
		セグメント利益	809	1,201	+48.4%	8,300	14.5%
		セグメント利益率	1.1%	1.6%	+0.5pt	2.4%	-
消費財計	住建	売上高	17,946	20,987	+17.0%	80,000	26.2%
		セグメント利益	382	547	+43.1%	3,300	16.6%
		セグメント利益率	2.1%	2.6%	+0.5pt	4.1%	-
	家庭機器	売上高	24,999	26,664	+6.7%	104,000	25.6%
		セグメント利益	1,199	1,397	+16.5%	4,600	30.4%
		セグメント利益率	4.8%	5.2%	+0.4pt	4.4%	-
	消費財計	売上高	42,945	47,652	+11.0%	184,000	25.9%
		セグメント利益	1,581	1,945	+23.0%	7,900	24.6%
		セグメント利益率	3.7%	4.1%	+0.4pt	4.3%	-
その他	その他	売上高	1,210	1,062	△12.2%	2,000	53.1%
		セグメント利益	△1,520	△1,414	-	△7,200	-
		セグメント利益率	-	-	-	-	-
連結	連結	売上高	118,577	126,136	+6.4%	530,000	23.8%
		営業利益	870	1,732	+99.0%	9,000	19.3%
		営業利益率	0.7%	1.4%	+0.6pt	1.7%	-

■ 売上/利益

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 中計初年度計画	2028年3月期 中計最終年度計画
売上高	516,126	530,000	600,000
営業利益	9,535	9,000	16,000
経常利益	10,018	9,000	16,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,845	7,000	11,000

■ 経営指標

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 中計初年度計画	2028年3月期 中計最終年度計画
自己資本利益率（ROE）	6.1%	5.5%	8.0%
基礎的営業キャッシュ・フロー	8,341	11,000	14,000
自己資本比率	43.3%	40~45%	40~45%

※ 基礎的営業キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローから運転資本増減額を控除して算定

A G E N D A

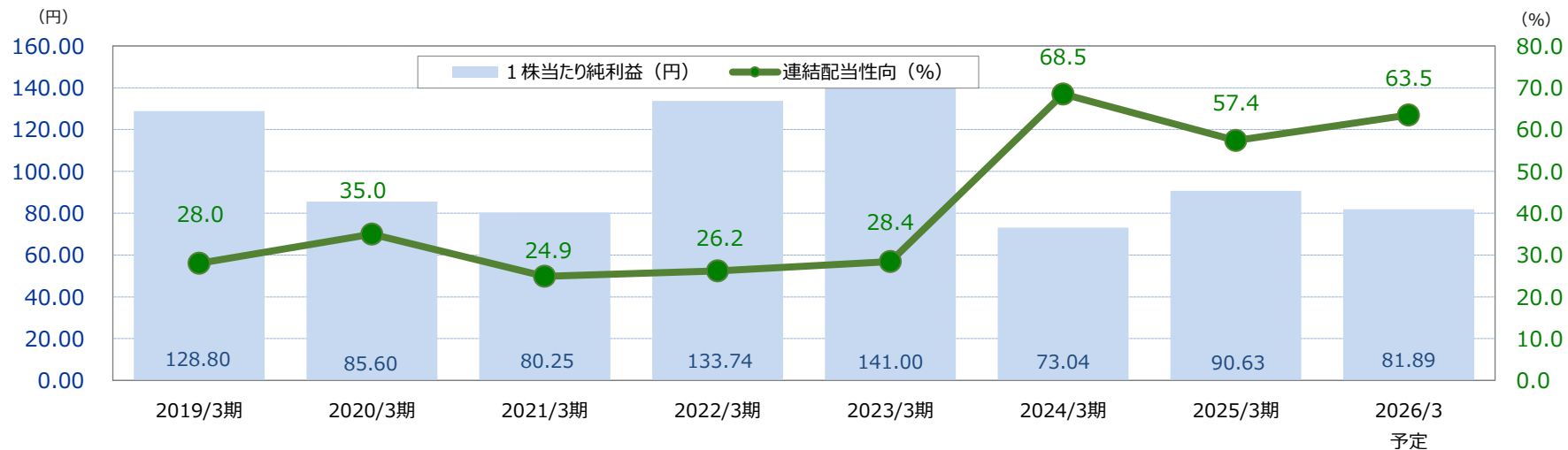
I. 2026年3月期（第1四半期） 決算概要

II. 2026年3月期 業績見通し・中期経営計画

III. 株主還元

Appendix

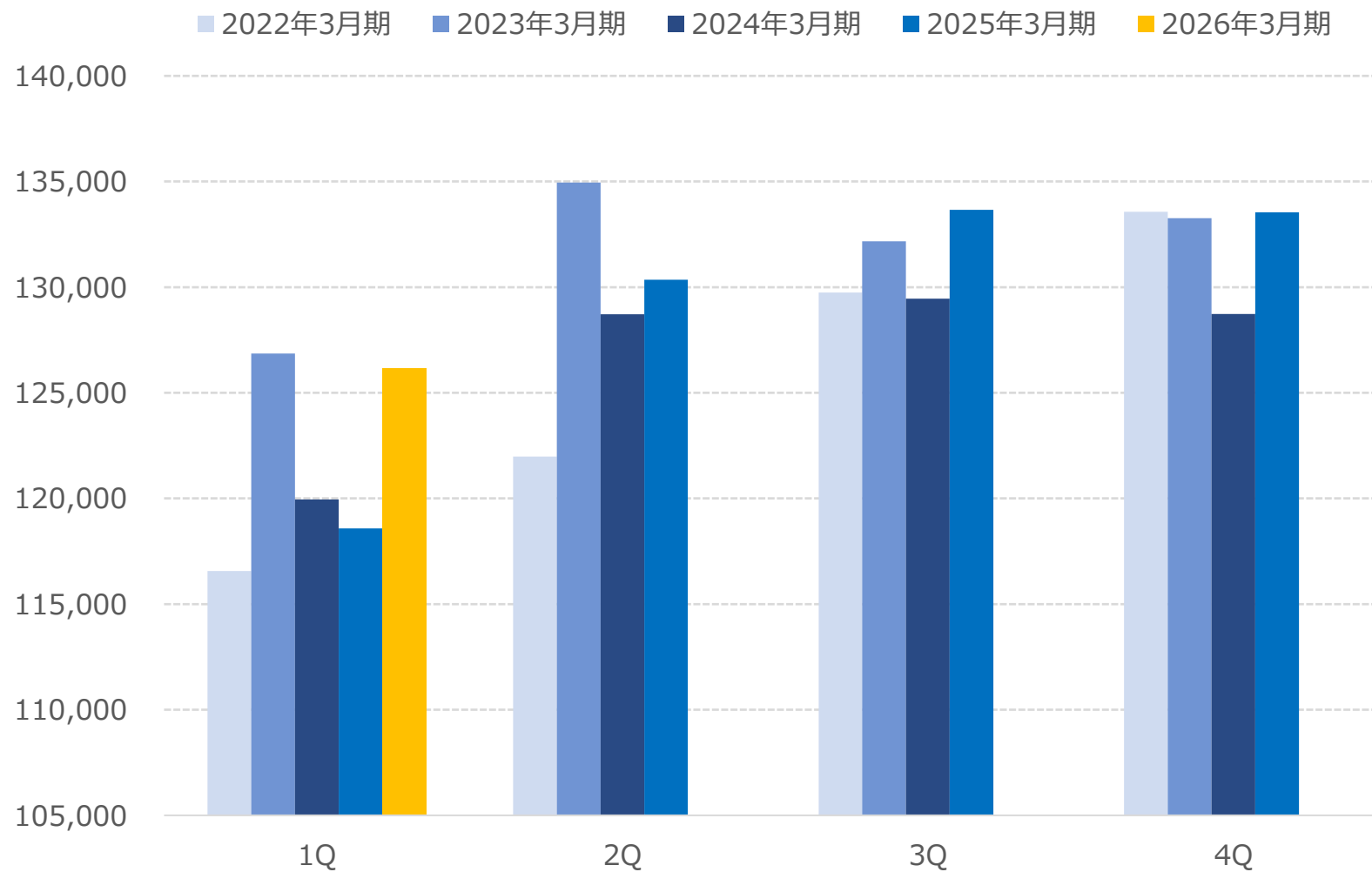
- 2025年3月期：中間20円/株、期末配当32円/株とし、年間配当52円/株
- 2026年3月期：中間20円/株、期末配当32円/株とし、年間配当52円/株を予定

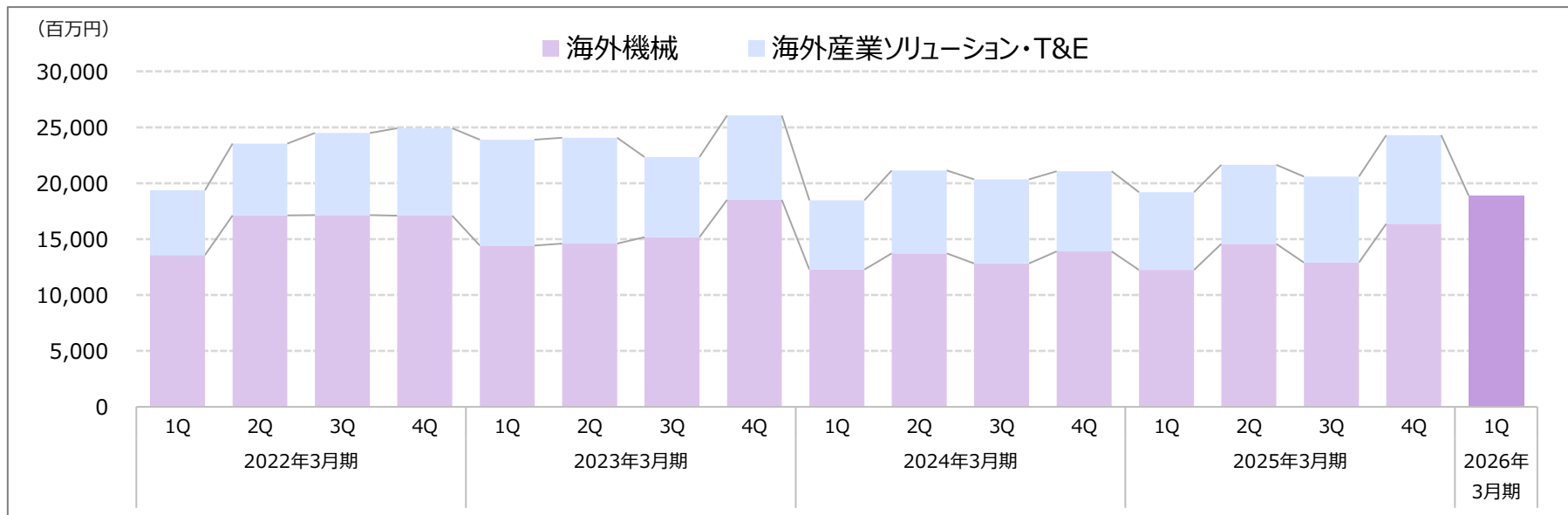
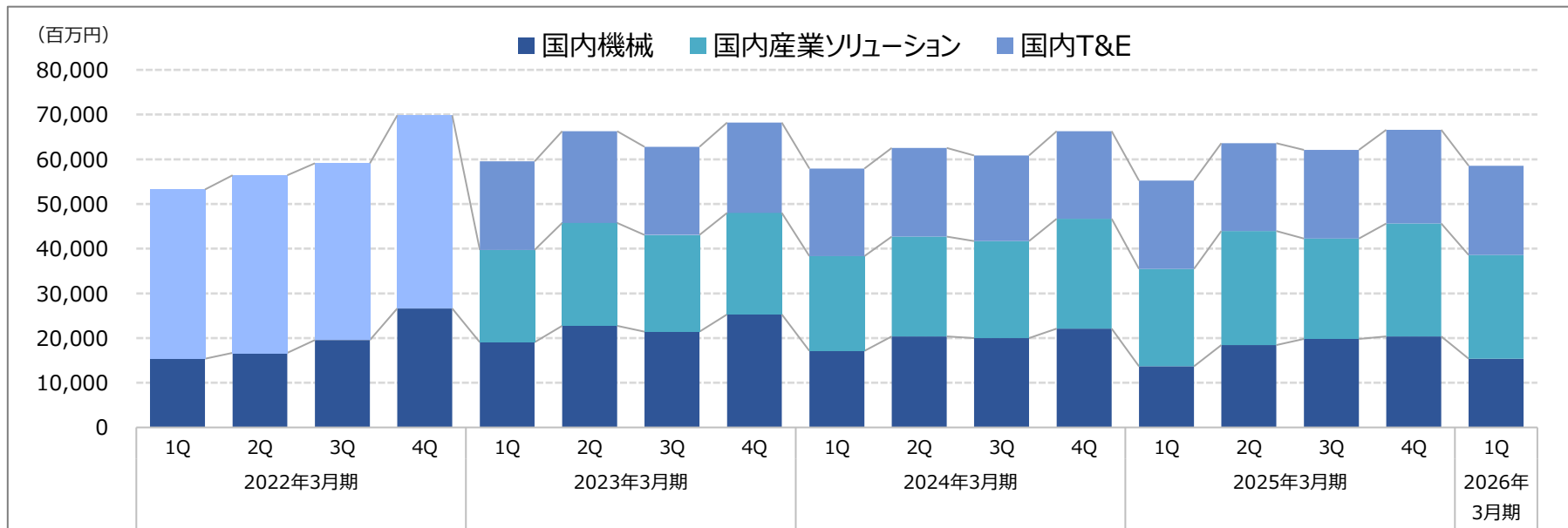


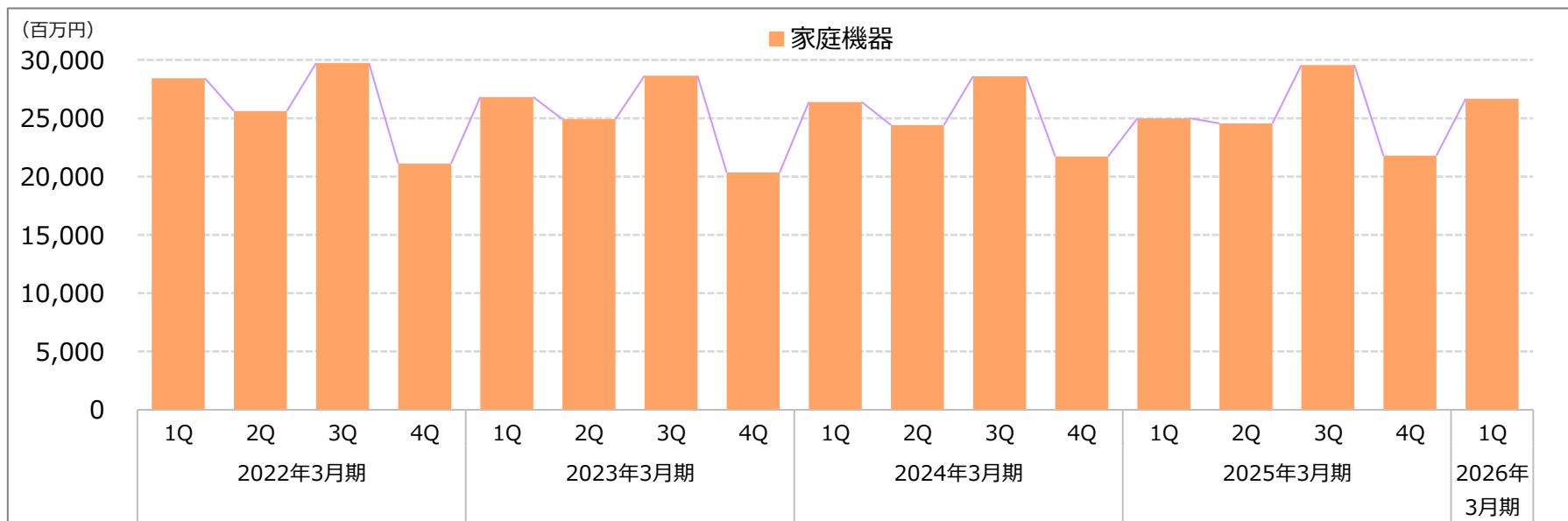
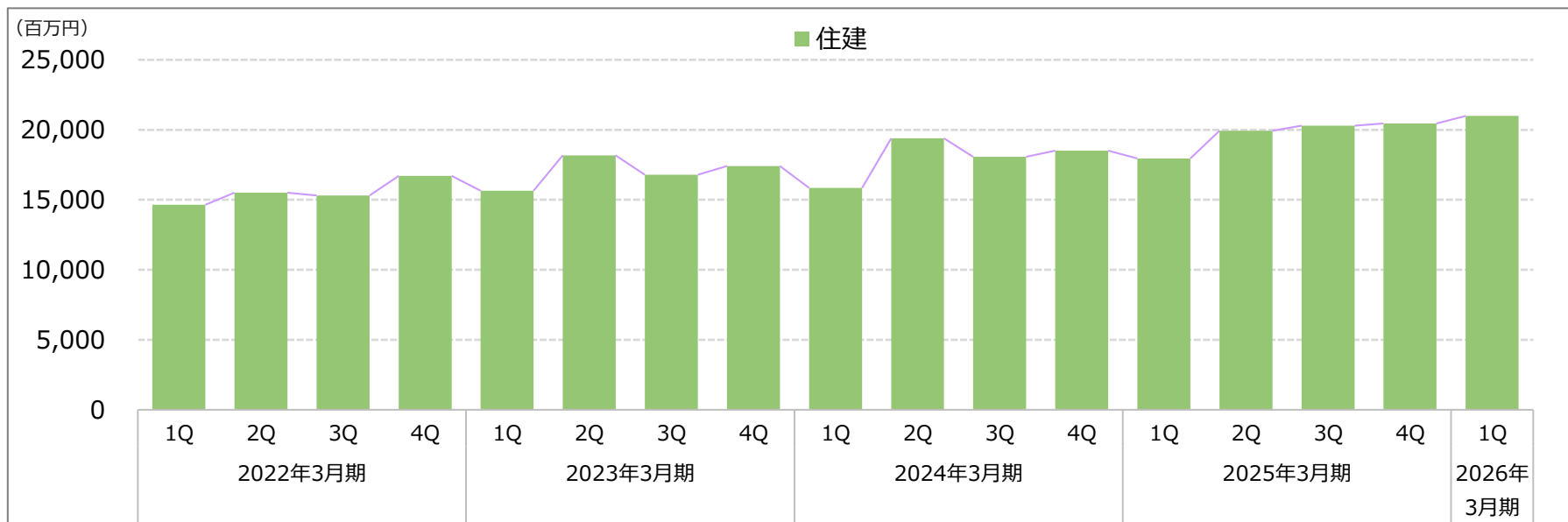
		2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期 予定
配当金額 (円)	中 間	15.0	16.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	期 末	*21.0	14.0	10.0	*25.0	20.0	30.0	32.0	32.0
	年 間	*36.0	30.0	20.0	35.0	40.0	50.0	52.0	52.0
配当性向 (%)		28.0	35.0	24.9	26.2	28.4	68.5	57.4	63.5
自己資本配当率 (DOE) (%)		3.8	3.0	1.9	2.9	3.0	3.5	3.5	3.5
年間配当金 (百万円)		3,405	2,837	1,891	3,115	3,560	4,451	4,453	4,453
自己株式取得金額 (百万円)		-	-	-	5,999	-	-	4,999	-
総還元性向 (%)		28.0	35.0	24.9	75.8	28.4	68.5	120.5	63.5

*は特別配当、記念配当を含む

Appendix







ともに、未来を切拓く

